

補助

工事数量総括表

名 称	種 別		単位	設計数量	積算数量	摘 要
1. 管路工						
1 開削管路工						
1.1 管路土工						
舗装版切断	舗装版切断	アスファルト版15cm以下	m	535	535	
舗装版破碎	舗装版破碎	アスファルト版10cm以下	m2	578	578	
舗装下掘削(土留め)	バックホ掘削	ｸﾛｰﾗ型山積0.45m3	m3	298	298	
切土面仕上げ	基面整正		m2	96	96	
基礎工(RC-40)	碎石基礎設置工(機械施工)		m3	15	15	
流用土埋戻し(土留め)	バックホ掘削・タンバ転圧	ｸﾛｰﾗ型山積0.45m3	m3	200	200	
残土処理	残土処理 運搬距離 L=2.0km	DT10t, BH0.45m3級積込, BD15t整地	m3	54	54	
残土処理	玉石処理 運搬距離 L=10.0km	DT10t, BH0.45m3級積込	m3	22	22	
1.2 管渠工						
1.2.1 管布設工	リブ付硬質塩化ビニル管設置工	管径150mm、施行規模20m以上、市場単価	m	104.9	105	
埋設物表示シート		ダブル150mm×50m	m	104.9	105	
材料費						
	マンホール用可とう継手	管径150mm	個	2	2	
1.3 マンホール資材						
1号マンホール資材			式	1	1	
1.4 マンホール工						
マンホール設置工	1号マンホール設置工(4箇所以上)	3.0m以下、市場単価	箇所	1	1	
	1号マンホール設置工(4箇所以上)	3.0m超4.0m以下、市場単価	箇所	1	1	
組立式マンホール底部工	1号マンホール		箇所	2	2	
基礎工	基礎碎石工	RC-40規格外 t=200	m2	1	1	
1.5 副管工						
外副管設置工	外副管設置工	1.0m以上～1.5m未満	箇所	1	1	
材料費			式	1	1	
型枠	型枠工	小型構造物	m2	2.20	2.2	
基礎工	基礎碎石工	RC-40規格外 t=200	m2	0.27	0.3	
コンクリート	コンクリートポンプ車打設	無筋Co18・8・40、W/C=60%以下 一般養生	m3	0.19	0.2	

工事数量総括表

名 称	種 別		単位	設計数量	積算数量	摘 要
1.6 公共ます工						
材料費			式	1	1	
公共ます設置工	ます設置工(塩化ビニル製)	φ200 5箇所以上 蓋無	箇所	1	1	
	塩ビ製公共ます設置工	深さ1.51m以上 蓋無	箇所	1	1	
1.7 取付管工						
取付管布設工及び支管取付工	取付管布設工及び支管取付工	φ100、5箇所以上、5m～12m未満 市場単価	箇所	2	2	
舗装版切断	舗装版切断	アスファルト版15cm以下	m	25.00	25	
舗装版破砕	舗装版破砕	アスファルト版10cm以下	m2	11.18	11	
舗装下掘削(素掘り)	バックホ掘削	ｸﾛｰﾗ型山積0.45m3	m3	0.9	0.9	
舗装下掘削(土留め)	バックホ掘削	ｸﾛｰﾗ型山積0.45m3	m3	24.80	25	
切土面仕上げ	基面整正		m2	8.02	8	
流用土埋戻し(土留め)	バックホ掘削・タンバ転圧	ｸﾛｰﾗ型山積0.45m3	m3	15.92	16	
残土処理	残土処理 運搬距離 L=2.0km	DT10t, BH0.45m3級積込, BD15t整地	m3	8.01	8	
1.8 道路復旧工						
1.8.1 県道A型						
仮復旧	上層路盤工(歩道部)	t=190mm、C-20	m2	224.9	225	
	下層路盤工(歩道部)	t=450mm、RC-40	m2	113.4	113	
	表層工(車道・路肩部)	t=30mm、②再生密粒度AS(13)プライム	m2	224.9	225	
本復旧	不陸整正工		m2	372.8	373	
	基層工(車道・路肩部)	t=40mm、②再生密粒度AS(13)プライム	m2	372.8	373	
	表層工(車道・路肩部)	t=30mm、⑤再生密粒度AS(13F)タック	m2	407.3	407	
1.8.2 県道(車両乗入無)						
仮復旧	上層路盤工(歩道部)	t=100mm、C-20	m2	1.5	2	
	表層工(車道・路肩部)	t=30mm、②再生密粒度AS(13)プライム	m2	1.5	2	
本復旧	不陸整正工		m2	2.2	2	
	基層工(車道・路肩部)	t=50mm、⑤再生密粒度AS(13F)プライム	m2	2.2	2	
1.8.4 切削工	アスファルト切削工	t=3cm、W=30cm	m2	34.6	35	
1.8.5 区画線工	区画線	供用区間 実線 15cm ペイント式	m	107.0	107	
		供用区間 実線 15cm 溶融式	m	109.6	110	
1.9 産業廃棄物処理工						
産業廃棄物処理工	アスファルト塊	運搬距離 L=10.5km	m3	33.00	33	
	アスファルト塊(切削材)	運搬距離 L=10.5km	m3	1.00	1	

工事数量総括表

名 称	種 別		単位	設計数量	積算数量	摘 要
2. 仮設工						
2 管路仮設工						
2.1 排水ポンプ運転						
排水ポンプ工	排水ポンプ運転	口径φ50mm、作業時排水	日	9.00	9	
	排水ポンプ設置撤去		現場	1.00	1	
	釜場設置撤去	釜場掘削・設置	箇所	3.00	3	
2.2 土留工						
本管土留工	軽量鋼矢板建込工(設置・撤去)	掘削深H=2.50m以下、支保工2段	m	60.00	60	
	軽量鋼矢板建込工(設置・撤去)	掘削深H=3.50m以下、支保工2段	m	47.00	47	
	軽量鋼矢板賃料	軽量型、軽作業	t	10.372	10.37	
	軽量金属支保工	賃料、修理及び損耗費	式	1.00	1	
取付管土留工	軽量鋼矢板建込工(設置・撤去)	掘削深H=2.00m以下、支保工2段	m	11.50	12	
		掘削深H=2.50m以下、支保工2段	m	2.50	3	
	軽量鋼矢板賃料	軽量型、軽作業	t	3.143	3.1	
	軽量金属支保工	賃料、修理及び損耗費	式	1.00	1	
2.3 交通管理工						
交通誘導	交通誘導員A		人	30.00	30	
	交通誘導員B		人	30.00	30	
3 間接工事費						
3.1 共通仮設費						
3.1.1 準備費						
試験掘工	県道A型		箇所	1.00	1	
舗装版切断	舗装版切断	アスファルト版15cm以下	m	5.0	5.0	
舗装版破碎	舗装版破碎	アスファルト版10cm以下	m2	1.4	1.0	
舗装下掘削(素掘り)	バックホ掘削	ｸﾛｰﾗ型山積0.45m3	m3	2.0	2.0	
流用土埋戻し(素掘り)	バックホ掘削・タンバ転圧	ｸﾛｰﾗ型山積0.45m3	m3	1.2	1.0	
残土処理	残土処理 運搬距離 L=2.0km	DT10t, BH0.45m3級積込, BD15t整地	m3	0.7	0.7	
仮復旧	下層路盤工(歩道部)	t=450mm、RC-40	m2	1.4	1.0	
	上層路盤工(歩道部)	t=190mm、C-20	m2	1.4	1.0	
	表層工(車道・路肩部)	t=30mm、②再生密粒度AS(13)プライム	m2	1.4	1.0	

工事数量総括表

[illegible]

管路施設第1号工事

管 路 土 工 総 括 表

工 種		規 格		単位	数 量	備 考	
舗 装 版 切 断		t= 15 cmまで		m	535	(舗装版切断調書より) 535.00	
		t= 30 cmまで		〃			
掘 削	舗 装 版	t= 10 cmまで		m ²	578	(舗装版取壊し・積込み・産業廃棄物処理一覧表より) As 577.80	
		t= 15 cmまで		〃			
	舗 装 下	BH 0.45m ³ 級 (素掘)		m ³			
		BH 0.45m ³ 級 (土留め)		m ³	298	(管路数量計算書より) 298.20	
		大型ブレイカー (土留め)		〃			
人 力 切 土 面 仕 上		人 力		m ²	96	(面仕上計算書より) 96.30	
基 礎 工	管床部及び 管 側 頂 部	搬 入 土 (砂)	BH 0.45m ³ 級(素掘)	m ³			
			BH 0.45m ³ 級(土留め)	〃			
		搬 入 土 (RC-40)	BH 0.45m ³ 級(素掘)	m ³			
			BH 0.45m ³ 級(土留め)	〃	15	(管路数量計算書より) 14.98	
		流 用 土	BH 0.45m ³ 級(素掘)	〃			
			BH 0.45m ³ 級(土留め)	〃			
埋 戻 管 上 部 埋 戻 部	搬 入 土	BH 0.45m ³ 級 (素掘)		〃			
		BH 0.45m ³ 級 (土留め)		〃			
	流 用 土	BH 0.45m ³ 級 (素掘)		〃			
		BH 0.45m ³ 級 (土留め)		〃	200	(管路数量計算書より) 199.76	
産 廃 処 理	舗装(As塊)	BH 0.45m ³ 級	10tダンプ	〃	33	(舗装版取壊し・積込み・産業廃棄物処理、取付管土工集計表より) 31.88 + 1.278 =33.158	
	舗装(Co塊)	BH 0.45m ³ 級	10tダンプ	〃			
	切 削 (As)	人 力	2tダンプ	〃	1	(本線切削調書より) 0.96	
残 土 処 理	舗 装 下	BH 0.45m ³ 級	10tダンプ	〃	54	(管路数量計算書より) 76.23 - 21.8 =54.43 (岩石分差引)	
		BH 0.80m ³ 級	10tダンプ	〃	22	岩石処分 217.95 × 10% =21.8 (路盤以外の掘削土量×10%)	

弥生地区 管路施設第1号工事

書 調 斷 切 版 裝 舖

[illegible]

弥生地区 管路施設第1号工事

舗装版取り壊し、積み込み 産業廃棄物処理一覧表

[illegible]

弥生地区 管路施設第1号工事

面 仕 上 計 算 書

[illegible]

管 路 数 量 計 算 書

[illegible]

リブ管管渠延長内訳表

管路施設第1号工事

管 径 (mm)	区間延長 (m)	管渠延長 (m)	可とう継手 下流	可とう継手 上流	リブ直管延長 (m)	リブRB管 1.045m×12mR(5°)		リブRB管 2.095m×12mR(10°)		リブRB管 2.160m×5.5mR(22.5°)		マンホール延長 (m)	埋設表示シート 延長 (m)
			個数(個)	個数(個)		箇所数	延長(m)	箇所数	延長(m)	箇所数	延長(m)		
φ150	107.000	104.900	2		107.000	1	1.045					2.100	104.900
φ200													
φ250													
計	107.000	104.900	2		107.000	1	1.045					2.100	104.900

リブ管管渠調査延長内訳表

管 径 (mm)	RB管区間管渠延長 (m)	直線区間管渠延長 (m)		計 (m)	備 考
φ150		104.900		104.900	
φ200					
φ250					
計		104.900		104.900	(カメラ調査延長 L= 104.900 m)

リブ管管渠延長内訳表(φ150mm)

管路施設第1号工事

[illegible]

マンホール歩掛集計表

区分		箇所数			
1号	～3.00m	1			
	3.01m～4.00m	1			
	4.01m～5.00m				
2号	～2.00m				
	2.01m～3.00m				
	3.01m～4.00m				
	4.01m～5.00m				
	5.01m～6.00m				
計		2			

弥生地区 管路施設第1号工事

マンホール数量計算書

[illegible]

外部副管工調書

マンホール 番号	本管径	落差	段差	副管用90度支管		接着受口カー		フレンチド 直管		副管用90度曲管		副管径 φ	巻立コンクリート			型枠工	コンクリート工	基礎砕石工	備 考
				150*100	200*150	φ 100	φ 150	φ 100	φ 150	φ 100	φ 150		幅 (W)	長 (L)	高 (H)				
M3	150	1.000	1.0m以上～ 1.5m未満	1		1		0.669		1		100	0.370	0.500	1.553	2.127	0.266	0.185	
計				1		1		0.669 m 1.000 本		1						2.127 m²	0.266 m³	0.185 m³	

汚水枳・取付管集計表(全体)

汚水枳総箇所数 2 箇所

弥生地区管路施設第1号工事

取付管総延長 14.00 m

汚水枳集計

基礎砂 ※1.5m以下 市場単価
2箇所 × 0.03 = 0.06 ※1.5m超 積上げ
0.06 m³ 内積上げ分
0.03 m³
汚水枳設置労務

	箇所数	市場単価計上分
H≤1.0		1 箇所
H≤1.5	1	内積上げ分
H>1.5	1	1 箇所

汚水枳部材数量

名称	蓋名	蓋区分	保護蓋	蓋厚さ	数量	立上り管 VU200mm
縦型	ミカゲ蓋	宅内	無し	0.23		
	t-8 蓋	一般	有り	0.34		
	t-25蓋	大型	有り	0.34		
横型	ミカゲ蓋	宅内	無し	0.23	2	2.84
	t-8 蓋	一般	有り	0.34		
	t-25蓋	大型	有り	0.34		

保護蓋数量(材料費：積上げ、労務費市場単価)
大型車用 箇所
一般車用 箇所

VU200mm本数(4m/本)
2.84m ÷ 4.0m = 0.7 内積上げ分
0.7 本 0.4 本

取付管集計

※市場単価
平均延長 7.00 m

曲管数量

曲管種別	部材長	数量	延長
15° 自在	0.2		
30°	0.2		
45°	0.2		
90° ベント	0.9		
30° 自在	0.2		
60° 自在	0.2	1	0.20
計			0.20

直管 φ100 4.0m/本

14.00m - 0.20m = 13.80
13.80 m
13.80m / 4m = 3.4本
4.0 本

支管数量

支管種別	数量
150*100	1
200*100	
250*100	
300*100	
350*100	
400*100	

汚 水 枺 ・ 取 付 管 調 書

弥生地区管路施設第1号工事

[illegible]

管路施設第1号工事

取 付 管 土 工 総 括 表

工 種		規 格		数 量								合 計	備 考
舗 装 版 切 断		アスファルト舗装版 t=10cm 以下		別途計算書より計上								25.00 m	
取 壊 ・ 積 込 み		アスファルト舗装版 t=10cm 以下										11.18 m ²	
掘 削	機 械 掘 削	BH 0.45m ³ 級	(素掘)			0.91						0.91 m ³	
			(土留め)		15.69	9.11						24.80 "	
切 土 面 仕 上		人 力				8.02						8.02 m ²	
基 礎 工	管 床 部 及 び 管 側 頂 部	搬 入 土 (砂)	BH 0.45m ³ 級	(素掘)								m ³	
				(土留め)	2.70	1.50						4.20 "	
													"
埋 戻 工	埋 戻 管 上 部 埋 戻 し	流 用 土	BH 0.45m ³ 級	(素掘)								"	
				(土留め)	1.79	0.99	6.58	6.56				15.92 "	
													"
		搬 入 土 (砂)	BH 0.45m ³ 級	(素掘)	凍上抑制層(道路復旧にて計上)							"	
				(土留め)									"
産 廃 処 理	舗 装 (As 塊)	BH 0.45m ³ 級	10tダンプ		別途計算書より計上							"	
	舗 装 (Co 塊)	BH 0.45m ³ 級	10tダンプ									"	
	切 削 (As)	人 力	2tダンプ									"	
残 土 処 理	舗 装 下	BH 0.45m ³ 級	10tダンプ			7.30		0.71				8.01 "	

管路施設第1号工事

取 付 管 土 工 集 計 表

工 種		規 格			単位	数 量								合 計	備 考	
道 路 区 分						県道A型(土留め)	県歩道車両乗り入れ無し(土留め)									
延 長		道路部			m	7.50	1.50						9.00			
		宅地部			〃	4.00	1.00						5.00			
舗 装 版 切 断					〃	別 途 計 算 書 より 計 上										
取 壊 ・ 積 込 み					m ²											
掘 削	機 械 掘 削	BH 0.45m ³ 級	(素掘)		m ³									道路部		
			(土留め)		〃	12.47	3.22						15.69	道路部		
	機 械 掘 削 (影 響 幅)	BH 0.45m ³ 級	(素掘)		〃	0.83	0.08					0.91	道路部			
			(素掘)		〃								宅地部			
	機 械 掘 削 (宅 地 分)	BH 0.45m ³ 級	(土留め)		〃	6.93	2.18					9.11	宅地部			
切 土 面 仕 上		人 力	(素掘)		m ²								道路部			
			(土留め)		〃	6.68	1.34					8.02	道路部			
基 礎 工	管 床 部 及 び 管 側 頂 部	搬 入 土 (砂)	BH 0.45m ³ 級	(素掘)	m ³								道路部			
				(土留め)	〃	2.25	0.45					2.70	道路部			
				(素掘)	〃								宅地部			
				(土留め)	〃	1.20	0.30					1.50	宅地部			
埋 戻 工	埋 戻 管 上 部	流 用 土	BH 0.45m ³ 級	(素掘)	〃								道路部			
				(土留め)	〃	1.49	0.30					1.79	道路部			
				(素掘)	〃								宅地部			
				(土留め)	〃	0.79	0.20					0.99	宅地部			
埋 戻 し		搬 入 土 (砂)	BH 0.45m ³ 級	(素掘)	〃	凍上抑制層(道路復旧にて計上)								<td>道路部</td>	道路部	
				(土留め)	〃									<td>道路部</td>	道路部	
		流 用 土	BH 0.45m ³ 級	(素掘)	〃									道路部		
				(土留め)	〃	4.49	2.09					6.58	道路部			
				(素掘)	〃								宅地部			
				(土留め)	〃	4.89	1.67					6.56	宅地部			
産 廃 処 理	舗 装 (As 塊)	BH 0.45m ³ 級	10tダンプ			〃	別 途 計 算 書 より 計 上								<th></th>	
	舗 装 (Co 塊)	BH 0.45m ³ 級	10tダンプ			〃									<th></th>	
	切 削 (As)	人 力	2tダンプ			〃									<th></th>	
残 土 処 理	舗 装 下	BH 0.45m ³ 級	10tダンプ	(素掘)	〃									道路部		
		BH 0.45m ³ 級	10tダンプ	(土留め)	〃	6.65	0.65					7.30	道路部			
		BH 0.45m ³ 級	10tダンプ	(素掘)	〃								宅地部			
		BH 0.45m ³ 級	10tダンプ	(土留め)	〃	0.61	0.10					0.71	宅地部			

舗装区分：As

※復旧面積のアスファルト舗装部は、開削幅により歩掛が異なるため、歩掛毎に集計を分けている。

弥生地区管路施設第1号工事

復旧区分：県道A型復旧[As]

仮復旧時																	本復旧時																	産廃 処理量	備 考
宅 地 番 号	測 点	本線掘削 幅/2	舗装 区分	延 長	仮 復 旧 時				本 復 旧 時								切削面 積 (舗 装)	舗装盤 切 断 本数 延長																	
					道路部 宅地部 計	開削幅	取壊面積	復旧面積	舗装盤 切 断 本数 延長	開削幅	取壊面積		復旧面積																						
						舗装 上層 下層	舗装 上層 下層	舗装 上層 下層			舗装 上層 下層	舗装 表層 基層	路盤 上層 下層	舗装 表層 基層	路盤 上層 下層																				
3	M2+42.00	0.50	As	5.50	1.990	8.95	8.95	4	1.990	8.95	8.95	8.95	2.52	0.969	半面反対側																				
				5.50	0.990	4.95	4.95	18.00																											

弥生地区管路施設第1号工事

復旧区分：県道A型復旧[As]

[illegible]

取付管土工(県道A型)数量計算書

	樹深合計	÷	箇所数	=	平均深
(素堀)		÷		=	
(土留)	3.30	÷	2	=	1.65

※()は土留の場合

※平均掘削深＝平均汚水桝深＋0.1(砂基礎厚)

(道路部)			
切削	影響幅	掘削幅	影響幅 切削
0.30	0.50		0.50 0.30
0.03	表層・t=0.03m		
0.04	基層・t=0.04m		
0.11	上層路盤・t=0.11m		
0.45	下層路盤・t=0.45m		
0.30 以上	流用土		
0.10	山砂		
0.114	○		
0.10			

0.630		
(0.606)		(1.750)
0.200		
0.314		

0.60
(0.99)

		(宅地部)			
				掘削幅	
		<div style="border: 1px solid black; height: 400px; position: relative;"> <div style="position: absolute; top: 50%; left: 50%; transform: translate(-50%, -50%);">流用土</div> </div>			
	0.20		流用土		
	0.314		山砂 ○		
		0.60			
		(0.99)			

1 m 当り算出			
工 種	素 堀	土 留	
舗装版切断 取壊・積込み		別途計算書より計上	
機械掘削 (BH・0.45m ³ 級)		(1.750 - 0.07)	× 0.99 = 1.663 m ³
機械掘削(影響幅) (BH・0.45m ³ 級)		1.00	× 0.11 = 0.110 m ³
切土面仕上げ		1.00	× 0.89 = 0.890 m ²
BH・0.45m ³ 級投入 基礎砂・管床側頂部		0.99 × 0.314 - 0.114 × 0.114)	{ 3.14 × 4 } ÷ = 0.300 m ³
BH・0.45m ³ 級投入(流用) 埋戻し・管上部		0.99	× 0.20 = 0.198 m ³
BH・0.45m ³ 級投入(流用) 埋戻し		0.99	× 0.606 = 0.599 m ³
BH・0.45m ³ 級投入 残土処理		1.663 - (0.198 + 0.599)	÷ 0.9 = 0.777 m ³
BH・0.45m ³ 級投入 残土処理			= 0.110 m ³

工 種	素 堀	土 留
機械掘削 (BH・0.45m3級)		0.99 × 1.75 = 1.732 m ³
BH・0.45m3級投入 基礎砂・管床側頂部		$0.99 \times 0.314 - \left[\frac{0.114 \times 0.114}{4} \right] \times 3.14 = 0.300 \text{ m}^3$
BH・0.45m3級投入(流用) 埋戻し管上部		0.99 × 0.20 = 0.198 m ³
BH・0.45m3級投入(流用) 埋戻し		$0.99 \times 1.236 - \left(0.198 + \frac{1.223}{0.9} \right) = 1.223 \text{ m}^3$
残土処理		

取付管土工(県歩道:車両乗り入れ無し)数量計算書

樹深合計	÷	箇所数	=	平均深
(素堀)				
(土留)				
2.10	÷	1	=	2.10

※()は土留の場合

※平均掘削深=平均汚水樹深+0.1(砂基礎厚)

(道路部)		
影響幅	掘削幅	影響幅
0.25		0.25
0.03	表層・t=0.03m	
0.10	上層路盤・t=0.10m	
0.15	山砂	
0.30 以上	流用土	
0.10	流用土	
0.114	山砂	
0.10		
0.60	(0.99)	

0.280	(2.200)
(1.406)	
0.200	
0.314	

(宅地部)		
	掘削幅	
(2.200)	(1.686)	
0.20	流用土	
0.314	山砂	
0.10		
0.114		
0.10		
0.60	(0.99)	

1 m 当り算出		
工 種	素 堀	土 留
舗装版切断 取壊・積込み		別途計算書より計上
機械掘削 (BH・0.45m ³ 級)		(2.200 - 0.03) × 0.99 = 2.148 m ³
機械掘削(影響幅) (BH・0.45m ³ 級)		0.50 × 0.10 = 0.050 m ³
切土面仕上げ		1.00 × 0.89 = 0.890 m ²
BH・0.45m ³ 級投入 基礎砂・管床側頂部		0.99 × 0.314 - [(3.14 × 0.114 × 0.114) ÷ 4] = 0.300 m ³
BH・0.45m ³ 級投入(流用) 埋戻し管上部		0.99 × 0.20 = 0.198 m ³
BH・0.45m ³ 級投入(流用) 埋戻し		0.99 × 1.406 = 1.391 m ³
BH・0.45m ³ 級投入(山砂) 埋戻し		凍上抑制層(道路復旧にて計上)
BH・0.45m ³ 級投入 残土処理		2.148 - (0.198 + 1.391) ÷ 0.9 = 0.382 m ³
BH・0.45m ³ 級投入 残土処理		= 0.050 m ³

1 m 当り算出		
工 種	素 堀	土 留
機械掘削 (BH・0.45m ³ 級)		0.99 × 2.20 = 2.178 m ³
BH・0.45m ³ 級投入 基礎砂・管床側頂部		0.99 × 0.314 - [(3.14 × 0.114 × 0.114) ÷ 4] = 0.300 m ³
BH・0.45m ³ 級投入(流用) 埋戻し管上部		0.99 × 0.20 = 0.198 m ³
BH・0.45m ³ 級投入(流用) 埋戻し		0.99 × 1.686 = 1.669 m ³
残土処理		2.178 - (0.198 + 1.669) ÷ 0.9 = 0.103 m ³

輕量鋼矢板建込工賃料日数計算書

[illegible]

道路復旧面積集計表

管路施設第1号工事

名 称		構成別		舗 装 工				上層路盤工(t=150)	下層路盤工(t=450)	凍上抑制層 (m ²)	切削工
				1.4m未満	1.4m～3.0m以下	3.0mを超～6.0m以下	計	2.5m未満	2.5m未満	2.5m未満	
県道A型 (仮復旧) (t=3cm)	本			214.0		214.0	214.0	107.0			
	取			10.9		10.9	10.9	6.4			
	付 管 計			224.9		224.9	224.9	113.4			
県道A型 (本復旧) (t=7cm)	本			363.8		395.9				32.1	
	取			9.0		11.4				2.5	
	付 管 計			9.0	363.8	407.3				34.6	

名 称		構成別		舗 装 工				上層路盤工(t=100)	下層路盤工(t=450)	凍上抑制層 (m ²)	切削工
		1.4m未満	1.4m～3.0m以下	3.0mを超～6.0m以下	計	2.5m未満	2.5m未満	2.5m未満			
県歩乗入無 (仮復旧) (t=3cm)	本										
	取付管	1.5			1.5	1.5					
	計	1.5			1.5	1.5					
県歩乗入無 (本復旧) (t=3cm)	本										
	取付管		2.2		2.2						
	計		2.2		2.2						

名 称		構成別	舗 装 工				上層路盤工(t=120)	下層路盤工(t=250)	凍上抑制層 (m ²)	切削工
			1.4m未満	1.4m～3.0m以下	3.0mを超～6.0m以下	計				
県歩道第3種道路 (仮復旧)	本	管 取 付 管 計					2.5m未満	2.5m未満	2.5m未満	
	計									
県歩道第3種道路 (本復旧) (t=5cm)	本	管 取 付 管 計								
	計									

名 称		構成別	舗 装 工				上層路盤工	下層路盤工	凍上抑制層 (m ²)	切削工
			1.4m未満	1.4m～3.0m以下	3.0mを超～6.0m以下	計	2.5m未満	2.5m未満	2.5m未満	
Co舗装道(本復旧)	本									
	取付管									
	計									

名 称		管		舗 装 工				上層路盤工	下層路盤工	凍上抑制層 (m ²)	切削工
				1.4m未満	1.4m～3.0m以下	3.0mを超～6.0m以下	計	2.5m未満	2.5m未満	2.5m未満	
砂利道(本復旧)	本										
	取付										
	計										

合 計		A=	409.5	m ²	凍上抑制工(山砂V= m ³)								
-----	--	----	-------	----------------	-----------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--

区 画 線				外 側 ・ 中 央 線				文 字	
				本線(左)	本線(右)	取付(左)	取付(右)	(白・実線・15cm)	
				107.0			2.6		
				本線(中央)					
				107.0					

弥生地区 管路施設第1号工事

舖裝復旧面積調書

[illegible]

本 線 切 削 調 書

管路施設第1号工事

路 線 名	区 間	舗装厚 m	幅 m	延長 m	面積 m ²	産廃量 m ³	備 考
幹線1号	M 2 ~ M 4	0.03	0.30	107.00	32.10	0.96	県道A型復旧
計				107.00	32.10	0.96	県道A型復旧
合 計				107.00	32.10	0.96	

軽 量 鋼 矢 板 建 込 工 賃 料 日 数 計 算 書

掘削範囲 (m)	延 長 (m)	建込日数(バックホウ) 日/100m (日)	引抜日数(バックホウ) 日/100m (日)	軽金支保工設置日数 人/100m (日)	軽金支保工撤去日数 人/100m (日)	延長1m当り矢板重量 t/m (t)	矢板長 (m)	集計値・能力			
1.51～1.80	L1	t1 1.798	t1' 0.893	b1 1.00	b1' 0.70	W1 0.215	2.0	バックホウ 0.45m3級 Q= 99.0 m3/日 掘削土量全体 C= 298.20 m3 埋戻部全体数量 D5= 214.74 m3 仕上げ面積 A1= 96.30 m ²			
1.81～2.00	L2					W2 0.268	2.5				
2.01～2.30	L3										
2.31～2.50	L4 60.00	t2 2.012	t2 0.964	b2 1.80	b2' 1.10	W3 0.322	3.0				
2.51～2.80	L5										
2.81～3.00	L6										
3.01～3.30	L7 47.00	t3 2.179	t3 1.060			W4 0.376	3.5				
3.31～3.50	L8										
3.51～3.80	L9										
ΣL 107.00		t5 2.500	t5' 1.250	b3 2.80	b3' 1.70	W5 0.430	4.0				

1. 掘削及び土留工(a1) ① 掘削日数＝掘削土量(C)／バックホウ作業能力(Q)＝ 298.20 / 99.0 = 3.012 ≒ 3.01 日 ② 矢板建込日数＝延長(L1+L2、L3+L4、L5+L6、L7+L8、L9)×設置日数(t1、t2、t3、t4、t5) ＝((+)× 0.01798)+((+ 60.00)× 0.02012)+((+)× 0.02179) +((47.00 +)× 0.02405)+(× 0.02500)＝ 2.337 ≒ 2.34 日 ③ 支保工設置日数＝延長(L1+L2、L3+L4+L5+L6+L7+L8、L9)×設置日数(b1、b2、b3) ＝((+)× 0.01000)+((+ 60.00 + + + 47.00 +)× 0.01800) +(× 0.02800)＝ 1.926 ≒ 1.93 日 ④ 切崩し・床均し日数＝掘削土量(C)×切崩し・床均し労務(人／m3)(K)／3人＝ 298.200 × 0.040 / 3人 ＝ 3.976 ≒ 3.98 日 a1＝①＋②＋③＋④＝ 3.01＋2.34＋1.93＋3.98＝11.26 日
2. 埋戻日数(a4)＝埋戻部全体数量(D5)÷33.0m3／日＝ 214.74 ÷ 33.0 ＝ 6.507 ≒ 6.51 日
3. 土留引抜日数(a5) ① 矢板引抜日数＝延長(L1+L2、L3+L4、L5+L6、L7+L8、L9)×引抜日数(t1'、t2'、t3'、t4'、t5') ＝((+)× 0.00893)+((+ 60.00)× 0.00964)+((+)× 0.01060) +((47.00 +)× 0.01155)+(× 0.01250)＝ 1.121 ≒ 1.12 日 ② 支保工撤去日数＝延長(L1+L2、L3+L4+L5+L6+L7+L8、L9)×撤去労務(b1'、b2'、b3') ＝((+)× 0.00700)+((+ 60.00 + + + 47.00 +)× 0.01100) +(× 0.01700)＝ 1.177 ≒ 1.18 日 a5＝①＋②＝ 1.12＋1.18＝2.30 日
4. 実供用日数(a0)＝a1＋(a4あるいはa5で値の大きい方)＝ 11.26＋6.51＝17.77 日 (※ a4の値を採用)
5. 供用日数(a)＝a0×30／20＝ 17.77×30／20＝ 26.65 ≒ 27 日
6. 使用回数(N)＝総延長(L)／30m＝ 107.00／30＝ 3.56 ≒ 4 回
7. 使用重量(W)＝延長(L1、L2+L3、L4+L5、L6、L7+L8)×設置重量(W1、W2、W3、W4、W5) ＝(× 0.215)+((+)× 0.268)+((60.00 +)× 0.322) +((+ 47.00)× 0.376)+((+)× 0.430)＝ 36.9920 ≒ 36.992
8. 1セット当り重量＝使用重量(W)×30m／総延長(L)＝ 36.992 ×30／107.00＝10.3715 ≒ 10.372
※切崩し・床均し労務(人／m3)(K)＝0.04 (バックホウ0.45m3級)

水替日数・ポンプ／釜場設置撤去 計算書

		本管	取付管	合計
全体延長	L	107.00	14.00	121.00
管床部全体数量	D1 (碎石基礎)	14.98		
	(砂基礎)			
管側頂部全体数量	D2	0	4.20	
管上部全体数量	D3	21.40	0	
埋戻部全体数量	D4	178.36		
埋戻部合計	D5=D2+D3+D4	199.76	4.2	203.96

1. 基礎工(a1)

管床部全体数量・敷均し転圧日数=D1÷97.0m³/日 碎石基礎

$$\frac{14.98}{97.0} = 0.154 \approx 0.15 \text{ 日}$$

計 0.15 日

2. 管布設日数(a2)

(人力施工) 管布設日数 = 管距延長 × 布設歩掛 / 2人

(機械施工) 管布設日数 = 管距延長 × 布設歩掛

人力施工 リブ管150 107.00 × 0.038 / 2 = 2.033 ≈ 2.03 日

人力施工 VU管100 14.00 × 0.025 / 2 = 0.175 ≈ 0.18 日

人 力 2.21 日
機 械 日
計 2.21 日

3. 埋戻日数(a3)

埋戻部全体数量・敷均し転圧日数=D5÷33.0m³/日

$$\frac{203.96}{33.0} = 6.180 \approx 6.18 \text{ 日}$$

4. 水替日数(a0)

$$a0 = a1 + a2 + a3 = 8.5 \approx 9 \text{ 日}$$

5. ポンプ及び釜場設置撤去

全体延長(L) / 50

$$\frac{107.00}{50} = 2.14 \approx 3 \text{ 箇所}$$

6. 1箇所当り水替日数

水替日数 / 箇所数

$$\frac{9}{3} = 3.0 \approx 3 \text{ 日/箇所}$$

交通管理工計算書

1. 土留材供用日数(a1)										
本管			27 日							
計			27 日							
2. 附帯工日数計算書(a2)										
工 種	規 格	単位	数 量					合 計	日当施工量	日 数
上層路盤工	歩道施工 1層(15cmまで)	m ²	224.9	1.5				226.5	268	0.85
	歩道施工 2層(30cmまで)	m ²							268	
下層路盤工	歩道施工 2層(40cmまで)	m ²	113.4					113.5	268	0.85
	歩道施工 3層(60cmまで)	m ²							268	
仮舗装工(人力施工)	歩道 幅1.4m未満 t=25mm以上～35mm未満	m ²	224.9	1.5				226.5	250	0.91
舗装版切断工	As t=15cm以下	m							240	
	Co t=15cm以下	m							150	
舗装版破碎工	t=10cm以下	m ²							810	
機械掘削	土砂、小規模、標準	m3							37	
不陸整正		m ²	363.8	2.2				366.0	1,580	0.23
舗装工(機械施工)	車道 幅1.4m以上 t=25mm以上～70mm未満	m ²	363.8					363.8	2,300	0.16
	歩道 幅1.4m以上 t=25mm以上～70mm未満	m ²	2.2					2.2	1,000	
路面切削工	帯状切削 平均h=3cm以下	m ²	34.6					34.6	1,800	0.02
区画線工	溶剤・水性ペイント式、自走 実線(加熱・常温)15cm	m	109.6					109.6	8,200	0.01
	熔融式、手動 実線15cm	m							1,500	
合 計										3.03
3. 日数(a0)										
a0 = a1 + a2 =			30 日							
交通誘導員	誘導員A		30	×	1	人	≒	30.0	人	
	誘導員B		30	×	1	人	≒	30.0	人	

共通仮設費内訳

管路施設第1号工事

工 種	規 格	計 算 式	数 量
運搬費	軽量鋼矢板	1セット(30m)当り重量 本管 36.992 × 30／ 107	
		取付管 3.143 × 30／ 30	
		40.135 × 30／ 137 = 8.789 t	8.789 t
準備工	試験掘工	県道A型 1 箇所 1 箇所	1 箇所
役務費	臨時電力設備	107.0 m ÷ 100 m/箇所 ≒ 1.0 箇所	1 箇所
技術管理費	カメラ調査	本管用 104.9 m	104.9 m
		取付管用 2 箇所	2 箇所

試 験 掘 工			県道A型																			
幅	W＝	0.91	<div>略 図 No scale</div> <div><div>1,500</div><div>②再生密粒度As(13)</div><div><div>30</div><div>150</div><div>450</div><div>870</div></div><div><div>復旧断面</div><div>舗装仮復旧工</div><div>埋戻工 C－20</div><div>埋戻工 RC－40</div><div>埋戻工 土砂</div></div><div><div>掘削断面</div><div>As版</div></div><div><div>70</div><div>1,430</div></div></div>																			
延長	L＝	1.50																				
深	H＝	1.50																				
			(1箇所当たり)																			
舗装切断工			L＝	(0.9	×	2	+	1.5	×	2)	×	1	=	5.0	m					
舗装盤破碎工			A＝	0.91	×	1.50	×	1								=	1.4	m ²				
人力掘削・積込			V＝	0.91	×	1.50	×	1.43	×	1								=	2.0	m ³		
埋戻工(土砂)			V＝	0.91	×	1.50	×	0.87	×	1								=	1.2	m ³		
埋戻工(路盤用砂)			V＝	0.91	×	1.50	×	0.00	×	1								=	0.0	m ³		
残土処理			V＝	2.0	－	(1.2	÷	0.9)	×	1								=	0.7	m ³
AS殻運搬・処分			V＝	0.91	×	1.50	×	0.07	×	1								=	0.1	m ³		
上層路盤工(C-20)			A＝	0.91	×	1.50	×	1								=	1.4	m ²				
下層路盤工(RC-40)			A＝	0.91	×	1.50	×	1								=	1.4	m ²				
舗装仮復旧 (再生密粒度As(13)t＝3cm Pコート)			A＝	舗装盤破碎工に同じ										=	1.4	m ²						

单独

工事数量総括表

名 称	種 別		単位	設計数量	積算数量	摘 要
1. 管路工						
1 開削管路工						
1.1 管路土工						
舗装版切断	舗装版切断	アスファルト版15cm以下	m	589	589	
		コンクリート版15cm以下	m	558	558	
舗装版破砕	舗装版破砕	アスファルト版10cm以下	m2	708	708	
		コンクリート版15cm以下	m2	418	418	
舗装下掘削(素掘り)			m3	41	41	
舗装下掘削(土留め)	バックホウ掘削	加圧型山積0.45m3	m3	809	809	
切土面仕上げ	基面整正		m2	358	358	
基礎工	砂基礎設置工(機械施工)		m3	22	22	
基礎工(RC-40)	碎石基礎設置工(機械施工)		m3	43	43	
流用土埋戻し(素掘り)			m3	13	13	
流用土埋戻し(土留め)	バックホウ掘削・タンバ転圧	加圧型山積0.45m3	m3	514	514	
残土処理	残土処理 運搬距離 L=2.0km	DT10t, BH0.45m3級積込, BD15t整地	m3	206	206	
残土処理	玉石処理 運搬距離 L=10.0km	DT10t, BH0.45m3級積込	m3	58	58	
1.2 管渠工						
1.2.1 管布設工	リブ付硬質塩化ビニル管設置工	管径150mm、施行規模20m以上、市場単価	m	304.9	305	
埋設物表示シート		ダブル150mm×50m	m	304.9	305	
材料費						
	マンホール用可とう継手	管径150mm	個	8	8	
管布設工	ポリエチレン管布設工	管径50mm、手間のみ	m	104.6	105	
材料費(圧送管)			式	1	1	
埋設物表示シート		ダブル150mm×50m	m	104.6	105	
1.3 マンホール資材						
1号マンホール資材			式	1	1	
1.4 マンホール工						
マンホール設置工	1号マンホール設置工(4箇所以上)	3.0m以下、市場単価	箇所	5	5	
	1号マンホール設置工(4箇所以上)	3.0m超4.0m以下、市場単価	箇所	4	4	
組立式マンホール底部工	1号マンホール		箇所	9	9	
1.5 副管工						
材料費			式	1	1	
外副管設置工	外副管設置工	1.0m未満	箇所	3	3	
型枠	型枠工	小型構造物	m2	5.00	5.0	
コンクリート	コンクリートポンプ車打設	無筋C18・8・40、W/C=60%以下 一般養生	m3	0.70	0.7	
基礎工	基礎碎石工	RC-40規格外 t=200	m2	0.60	0.6	

工事数量総括表

名 称	種 別		単位	設計数量	積算数量	摘 要
1.6 公共ます工						
材料費			式	1	1	
公共ます設置工	ます設置工(塩化ビニル製)	φ200 5箇所以上 蓋有	箇所	1	1	
	塩ビ製公共ます設置工	深さ1.51m以上 蓋有	箇所	3	3	
	塩ビ製公共ます設置工	深さ1.51m以上 蓋無	箇所	1	1	
1.7 取付管工						
取付管布設工及び支管取付工	取付管布設工及び支管取付工	φ100、5箇所以上、5m～12m未満 市場単価	箇所	5	15	
舗装版切断	舗装版切断	アスファルト版15cm以下	m	44.00	44	
舗装版破碎	舗装版破碎	アスファルト版10cm以下	m ²	49.59	50	
舗装下掘削(素掘り)	バックホ掘削	ｸﾛｰ型山積0.45m ³	m ³	2.22	2	
舗装下掘削(土留め)	バックホ掘削	ｸﾛｰ型山積0.45m ³	m ³	62.20	62	
切土面仕上げ	基面整正		m ²	22.28	22	
流用土埋戻し(素掘り)	バックホ掘削・タンバ転圧	ｸﾛｰ型山積0.45m ³	m ³	0.42	0.4	
流用土埋戻し(土留め)	バックホ掘削・タンバ転圧	ｸﾛｰ型山積0.45m ³	m ³	38.77	39	
残土処理	残土処理 運搬距離 L=2.0km	DT10t, BH0.45m ³ 級積込, BD15t整地	m ³	20.86	21	
1.8 道路復旧工						
1.8.1 一般市道						
仮復旧	上層路盤工(歩道部)	t=190mm、C-20	m ²	164.1	164	
	下層路盤工(歩道部)	t=450mm、RC-40	m ²	164.1	164	
	表層工(車道・路肩部)	t=30mm、②再生密粒度AS(13)プライム	m ²	164.1	164	
本復旧	不陸整正工		m ²	358.6	359	
	基層工(車道・路肩部)	t=40mm、②再生密粒度AS(13)プライム	m ²	358.6	359	
	表層工(車道・路肩部)	t=30mm、⑤再生密粒度AS(13F)タック	m ²	409.6	410	
1.8.2 県道A型						
仮復旧	上層路盤工(歩道部)	t=150mm、C-20	m ²	5.0	5	
	下層路盤工(歩道部)	t=450mm、RC-40	m ²	2.5	3	
	表層工(車道・路肩部)	t=30mm、②再生密粒度AS(13)プライム	m ²	5.0	5	
本復旧	不陸整正工		m ²	8.5	9	
	基層工(車道・路肩部)	t=40mm、②再生密粒度AS(13)プライム	m ²	8.5	9	
	表層工(車道・路肩部)	t=30mm、⑤再生密粒度AS(13F)タック	m ²	9.3	9	
1.8.3 簡易舗装道(全面)						
仮復旧	上層路盤工(歩道部)	t=120mm、C-20	m ²	34.6	35	
	下層路盤工(歩道部)	t=300mm、RC-40	m ²	34.6	35	
	表層工(車道・路肩部)	t=30mm、②再生密粒度AS(13)プライム	m ²	34.6	35	
本復旧	不陸整正工		m ²	160.5	161	
	基層工(車道・路肩部)	t=50mm、⑤再生密粒度AS(13F)プライム	m ²	160.5	161	
1.8.4 コンクリート舗装道						
本復旧	下層路盤工(歩道部)	t=200mm、RC-40	m ²	139.4	139	
	不陸整正工		m ²	418.2	418	
	コンクリート舗装工(人力)	圧縮強度18N/mm ² 粗骨材40mm	m ²	418.2	418	
1.8.5 砂利道						
本復旧	上層路盤工(歩道部)	t=100mm、C-20	m ²	77.2	77	
	下層路盤工(歩道部)	t=300mm、RC-40	m ²	77.2	77	
1.8.3 凍上抑制層	バックホ掘削・タンバ転圧	t=200mm、路盤用 砂、ｸﾛｰ型山積0.45m ³	m ³	83.1	83	
1.8.4 切削工	アスファルト切削工	t=3cm, W=30cm	m ²	51.8	52	
1.9 産業廃棄物処理工						
産業廃棄物処理工	アスファルト塊	運搬距離 L=10.5km	m ³	40.00	40	
	コンクリート塊	運搬距離 L=10.5km	m ³	42.00	42	
	アスファルト塊(切削材)	運搬距離 L=10.5km	m ³	1.00	1	

工事数量総括表

名 称	種 別		単位	設計数量	積算数量	摘 要
2. 仮設工						
2 管路仮設工						
2.1 排水ポンプ運転						
排水ポンプ工	排水ポンプ運転	口径φ50mm、作業時排水	日	26.00	26	
	排水ポンプ設置撤去		現場	1.00	1	
	釜場設置撤去	釜場掘削・設置	箇所	9.00	9	
2.2 土留工						
本管土留工	軽量鋼矢板建込工(設置・撤去)	掘削深H=2.00m以下、支保工2段	m	171.00	171	
	軽量鋼矢板建込工(設置・撤去)	掘削深H=2.50m以下、支保工2段	m	123.00	123	
	軽量鋼矢板建込工(設置・撤去)	掘削深H=3.00m以下、支保工2段	m	69.00	69	
	軽量鋼矢板賃料	軽量型、軽作業	t	8.730	8.73	
	軽量金属支保工	賃料、修理及び損耗費	式	1.00	1	
取付管土留工	軽量鋼矢板建込工(設置・撤去)	掘削深H=2.50m以下、支保工2段	m	26.00	26	
	軽量鋼矢板賃料	軽量型、軽作業	t	8.370	8.37	
	軽量金属支保工	賃料、修理及び損耗費	式	1.00	1	
2.3 交通管理工						
交通誘導	交通誘導員B		人	110.00	110	
3 間接工事費						
3.1 共通仮設費						
3.1.1 運搬費						
仮設材運搬工	軽量鋼矢板土留材運搬工		t	8.79	8.79	
3.1.2 準備費						
試験掘工	一般市道		箇所	2.00	2	
舗装版切断	舗装版切断	アスファルト版15cm以下	m	5.0	5.0	
舗装版破砕	舗装版破砕	アスファルト版10cm以下	m2	1.4	1.4	
舗装下掘削(素掘り)	バックホウ掘削	ｸﾛｰﾗ型山積0.45m3	m3	2.0	2.0	
流用土埋戻し(素掘り)	バックホウ掘削・タンバ転圧	ｸﾛｰﾗ型山積0.45m3	m3	0.9	0.9	
凍上抑制層	バックホウ掘削・タンバ転圧	t=200mm、路盤用 砂、ｸﾛｰﾗ型山積0.45m3	m3	0.3	0.3	
残土処理	残土処理 運搬距離 L=2.0km	DT10t、BH0.45m3級積込、BD15t整地	m3	1.0	1.0	
仮復旧	下層路盤工(歩道部)	t=450mm、RC-40	m2	1.4	1.4	
	上層路盤工(歩道部)	t=190mm、C-20	m2	1.4	1.4	
	表層工(車道・路肩部)	t=30mm、②再生密粒度AS(13)プライム	m2	1.4	1.4	
試験掘工	コンクリート道		箇所	1.00	1	
舗装版切断	舗装版切断	アスファルト版15cm以下	m	5.0	5.0	
舗装版破砕	舗装版破砕	アスファルト版10cm以下	m2	1.0	1.0	
舗装下掘削(素掘り)	バックホウ掘削	ｸﾛｰﾗ型山積0.45m3	m3	2.0	2.0	
流用土埋戻し(素掘り)	バックホウ掘削・タンバ転圧	ｸﾛｰﾗ型山積0.45m3	m3	0.3	0.3	
残土処理	残土処理 運搬距離 L=2.0km	DT10t、BH0.45m3級積込、BD15t整地	m3	1.0	1.0	
仮復旧	下層路盤工(歩道部)	t=450mm、RC-40	m2	1.0	1.0	
試験掘工	砂利道		箇所	2.00	2	
舗装下掘削(素掘り)	バックホウ掘削	ｸﾛｰﾗ型山積0.45m3	m3	2.0	2.0	
流用土埋戻し(素掘り)	バックホウ掘削・タンバ転圧	ｸﾛｰﾗ型山積0.45m3	m3	1.0	1.0	
残土処理	残土処理 運搬距離 L=2.0km	DT10t、BH0.45m3級積込、BD15t整地	m3	0.7	0.7	
仮復旧	上層路盤工(歩道部)	t=190mm、C-20	m2	1.0	1.0	
	下層路盤工(歩道部)	t=450mm、RC-40	m2	1.0	1.0	

工事数量総括表

[illegible]

管路施設第1号工事

管 路 土 工 総 括 表

工 種		規 格		単位	数 量	備 考
舗 装 版 切 断		t= 15 cmまで As		m	589	(舗装版切断調書より) 589.60
		t= 15 cmまで Co		"	558	(舗装版切断調書より) 557.60
掘 削	舗 装 版	t= 10 cmまで As		m ²	708	(舗装版取壊し・積込み・産業廃棄物処理一覧表より) As 707.54
		t= 10 cmまで Co		"	418	(舗装版取壊し・積込み・産業廃棄物処理一覧表より) Co 418.20
	舗 装 下	BH 0.45m ³ 級 (素掘)		m ³	41	(管路数量計算書より) 41.30
		BH 0.45m ³ 級 (土留め)		m ³	809	(管路数量計算書より) 808.79
		大型ブレイカー (土留め)		"		
人 力 切 土 面 仕 上		人 力		m ²	358	(面仕上計算書より) 358.26
基 礎 工	管床部及び 管側頂部	搬 入 土 (砂)	BH 0.45m ³ 級(素掘)	m ³	8	(管路数量計算書より) 8.02
			BH 0.45m ³ 級(土留め)	"	14	(管路数量計算書より) 13.65
		搬 入 土 (RC-40)	BH 0.45m ³ 級(素掘)	m ³		
			BH 0.45m ³ 級(土留め)	"	43	(管路数量計算書より) 43.37
		流 用 土	BH 0.45m ³ 級(素掘)	"		
			BH 0.45m ³ 級(土留め)	"		
埋戻管上部 埋 戻 部	搬 入 土	BH 0.45m ³ 級 (素掘)		"		
		BH 0.45m ³ 級 (土留め)		"		
	流 用 土	BH 0.45m ³ 級 (素掘)		"	13	(管路数量計算書より) 12.84
		BH 0.45m ³ 級 (土留め)		"	514	(管路数量計算書より) 514.41
産 廃 処 理	舗装(As塊)	BH 0.45m ³ 級 10tダンプ		"	40	(舗装版取壊し・積込み・産業廃棄物処理、取付管土工集計表より) 38.53 + 1.179 =39.709
	舗装(Co塊)	BH 0.45m ³ 級 10tダンプ		"	42	(舗装版取壊し・積込み・産業廃棄物処理一覧表より) 41.82
	切 削 (As)	人 力 2tダンプ		"	1	(本線切削調書より) 1.42
残 土 処 理	舗 装 下	BH 0.45m ³ 級 10tダンプ		"	206	(管路数量計算書より) 264.21 - 58.13 =206.08 (岩石分差引)
		BH 0.80m ³ 級 10tダンプ		"	58	岩石処分 581.27 × 10% =58.127 (路盤以外の掘削土量×10%)

弥生地区 管路施設第1号工事

書 調 斷 切 版 裝 舖

[illegible]

弥生地区 管路施設第1号工事

舗装版取り壊し、積み込み 産業廃棄物処理一覧表

[illegible]

弥生地区 管路施設第1号工事

面 仕 上 計 算 書

[illegible]

管 路 数 量 計 算 書

路線名	マンホール No.	単 距 (管 距)	地盤高	管底高	土被り	掘削深 (管体迄)	平均 掘削深	掘削深	道 路 管 種	掘 削 土 量				残 土	埋 戻 し				土留工	機 種 掘削幅
										仮復旧時	本復旧時	路盤以外	掘削土量 計		流用土	搬入土	流用土	搬入土		
										上層	上層影響				埋 戻	埋 戻	管側頂	管側頂		
										下層	上・下層				管 上	管 上	管 床	管 床		
										砂基礎	砂基礎				計	計	計	計		
支線1	M39	52.50	143.72	140.213	3.34	3.51	2.39	2.49	一般市道	7.87				44.56	65.62			2.10	軽量鋼矢 板(4)	0.45m3級
	M39+52.5	(52.05)	139.40	138.131	1.10	1.27			リブ管150	23.62	2.10	85.05	129.14	10.50			5.25			
										10.50				76.12			7.35			
路線計		52.50 (52.05)								7.87				44.56	65.62			2.10		
										23.62	2.10	85.05	129.14	10.50			5.25			
										10.50				76.12			7.35			
支線2	M40		139.93	136.757	3.01	3.18	3.12	3.22	市砂利道復旧	6.38				31.75	143.55			2.55	軽量鋼矢 板(7)	0.45m3級
	M40+63.8	(63.35)	139.63	136.567	2.90	3.07			リブ管150	19.14		167.15	205.43	12.76			6.38			
										12.76				156.31			8.93			
支線2	M40+63.8		139.63	136.567	2.90	3.07	3.06	3.16	一般市道	0.78				4.01	9.98			0.20	軽量鋼矢 板(7)	0.45m3級
		5.20 (4.75)	139.60	136.553	2.88	3.05			リブ管150	2.34	0.20	11.90	16.26	1.04			0.52			
										1.04				11.02			0.72			
路線計		69.00 (68.10)								7.16				35.76	153.53			2.75		
										21.48	0.20	179.05	221.69	13.80			6.90			
										13.80				167.33			9.65			
支線3	M41	50.00	139.60	138.343	1.19	1.26	1.42	1.52	一般市道	7.50				53.38	9.00			8.00	軽量鋼矢 板(1)	0.45m3級
	M41+50.0	(49.55)	143.34	141.746	1.53	1.59			ホリ管50圧送	22.50	2.00	32.50	74.50	10.00			5.00			
										10.00				19.00			13.00			
路線計		50.00 (49.55)								7.50				53.38	9.00			8.00		
										22.50	2.00	32.50	74.50	10.00			5.00			
										10.00				19.00			13.00			
支線2-1	M2-1		136.00	134.943	1.00	1.06	1.22	1.32	簡易舗装道	3.21				27.03	6.42			4.81	OPEN	0.45m3級
	M2-1+53.5	(53.05)	139.73	138.346	1.32	1.38			ホリ管50圧送	9.63	0.64	21.40	41.30	6.42			3.21			
										6.42				12.84			8.02			
支線2-1	M2-1+53.5		139.73	138.346	1.32	1.38	1.47	1.57	県道A型復旧	0.55				2.36	1.17			0.40	軽量鋼矢 板(1)	0.45m3級
		2.50 (2.05)	139.91	138.346	1.50	1.56			ホリ管50圧送	1.12	0.20	2.35	4.22	0.50			0.25			
														1.67			0.65			
路線計		56.00 (55.10)								3.76				29.39	7.59			5.21		
										10.75	0.84	23.75	45.52	6.92			3.46			
										6.42				14.51			8.67			
支線12-1	M12-1		153.65	150.301	3.18	3.35	2.29	2.39	コンクリート舗装復旧					22.80	100.44			2.48	軽量鋼矢 板(4)	0.45m3級
	M12-2	62.00 (61.10)	149.39	148.163	1.06	1.23			リブ管150	6.20	6.20	123.38	148.18	12.40			6.20			
										12.40				112.84			8.68			
支線12-1	M12-2		149.39	147.463	1.76	1.93	1.57	1.67	コンクリート舗装復旧					21.04	42.30			1.88	軽量鋼矢 板(1)	0.45m3級
		47.00 (46.10)	145.40	144.190	1.05	1.22			リブ管150	4.70	4.70	59.69	78.49	9.40			4.70			
										9.40				51.70			6.58			
支線12-1	M12-3		145.40	143.590	1.65	1.82	1.81	1.91	コンクリート舗装復旧					12.80	34.65			1.21	軽量鋼矢 板(2)	0.45m3級
		30.40 (29.95)	143.99	142.182	1.64	1.81			リブ管150	3.04	3.04	45.90	58.06	6.08			3.04			
										6.08				40.73			4.25			
路線計		139.40 (137.15)								13.94	13.94	228.97	284.73	56.64	177.39			5.57		
										27.88					27.88			13.94		
										205.27					205.27			19.51		
支線4	M42		139.99	137.766	2.06	2.23	1.80	1.90	一般市道	6.15				37.49	27.06			1.64	軽量鋼矢 板(2)	0.45m3級
		41.00 (40.10)	136.28	134.919	1.20	1.37			リブ管150	18.45	1.64	42.23	76.67	8.20			4.10			
										8.20				35.26			5.74			

弥生地区 管路施設第1号工事

管 路 数 量 計 算 書

路線名	マンホール No.	単 距 (管 距)	地盤高	管底高	土被り	掘削深 (管体迄)	平均 掘削深	掘削深	道 路 管 種	掘 削 土 量				残 土	埋 戻 し				土留工	機 種 掘削幅		
										仮復旧時	本復旧時	路盤以外	掘削土量 計		流用土	搬入土	流用土	搬入土				
										上層	上層影響				埋 戻 管 上	埋 戻 管 上	管側頂 管 床	管側頂 管 床				
										下層	上・下層				計	計	計	計				
支線4	M43	8.00 (7.55)	136.28	134.031	2.08	2.25	2.16	2.26	一般市道	1.20		11.12	17.84	6.99	8.16			0.32	軽量鋼矢 板(3) 2.30	0.45m3級 1.00		
	M43+8.0		135.74	133.676	1.90	2.07				3.60	0.32				1.60			0.80				
										1.60							1.12					
路線計		49.00 (47.65)								7.35		53.35	94.51	44.48	35.22			1.96				
							22.05	1.96	9.80						4.90							
							9.80				6.86											
合 計		415.90 (409.60)								33.64	21.04	602.67	850.09	264.21	448.35			25.59				
										114.34					78.90			39.45				
										78.40					527.25			65.04				
H≤1.5		53.50 (53.05)								3.21		21.40	41.30	27.03	6.42			4.81				
0.45m3級										9.63	0.64				6.42			3.21				
1.5<H≤3.8										6.42								8.02				
0.45m3級		362.40 (356.55)								30.43		581.27	808.79	237.18	441.93			20.78				
3.8<H≤4.0										104.71	20.40				72.48			36.24				
0.45m3級										71.98					514.41			57.02				
3.8<H≤4.0																						
0.45m3級																						
4.0<H≤6.0																						
0.80m3級																						
上層路盤 影響幅分																						
0.45m3級																						
機種別		415.90 (409.60)								33.64	21.04	602.67	850.09	264.21	448.35			25.59				
0.45m3級										114.34					78.90							

リブ管管渠延長内訳表

管路施設第1号工事

管 径 (mm)	区間延長 (m)	管渠延長 (m)	可とう継手 下流	可とう継手 上流	リブ直管延長 (m)	リブRB管 1.045m×12mR(5°)		リブRB管 2.095m×12mR(10°)		リブRB管 2.160m×5.5mR(22.5°)		マンホール延長 (m)	埋設表示シート 延長 (m)
			個数(個)	個数(個)		箇所数	延長(m)	箇所数	延長(m)	箇所数	延長(m)		
φ 150	309.900	304.950	7	1	300.765	2	2.090	1	2.095			4.950	304.950
φ 200													
φ 250													
計	309.900	304.950	7	1	300.765	2	2.090	1	2.095			4.950	304.950

リブ管管渠調査延長内訳表

管 径 (mm)	RB管区間管渠延長 (m)	直線区間管渠延長 (m)		計 (m)	備 考
φ 150		304.950		304.950	
φ 200					
φ 250					
計		304.950		304.950	(カメラ調査延長 L= 304.950 m)

リブ管管渠延長内訳表(φ150mm)

管路施設第1号工事

[illegible]

路線名	測 点	管路延長	管渠延長	タイプ	圧送 口径 (mm)	継 手 等														直管延長	埋設シート	管明示 テープ	波付硬質合 成樹脂管
						端末継手		中間継手		可とう管		ベンド管		橋梁添架		SUS管等	小計						
						個数	延長	個数	延長	個数	延長	個数	延長	個数	延長								
支線3	M 41 ～ M 41 + 50	50.00	49.55	下水用	50	1	0.2			1	0.35					0.25	0.80	48.75	49.55	22.96	30.0		
支線2-1	M 2-1 ～ M 2	56.00	55.10	下水用	50	1	0.2			1	0.35					0.25	0.80	54.30	55.10	25.57	30.0		
計		106.00	104.65			2	0.40			2	0.70					0.50	1.60	103.05	104.65	48.53	60.0		

圧送管調書(ベンド管)

路線名	測点	管路延長	管渠延長	タイプ	圧送 口径 (mm)	ベ ン ド 管														備考
						11-1/4度		22-1/2度		45度		90度		中間継手		計				
						個数	延長	個数	延長	個数	延長	個数	延長	個数	延長	個数	延長			

継手工(1口) = 直管21本 = 21箇所

マンホール歩掛集計表

区分		箇所数			
1号	～3.00m	5			
	3.01m～4.00m	4			
	4.01m～5.00m				
2号	～2.00m				
	2.01m～3.00m				
	3.01m～4.00m				
	4.01m～5.00m				
	5.01m～6.00m				
計		9			

弥生地区 管路施設第1号工事

マンホール数量計算書

[illegible]

平成30年度 弥生地区管路施設第1号工事

マンホール数量計算書

[illegible]

外部副管工調書

マンホール 番号	本管径	落差	段差	副管用90度支管		接着受口カー		フレンチド 直管		副管用90度曲管		副管径 φ	巻立コンクリート			型枠工	コンクリート工	基礎砕石工	備 考
				150*100	200*150	φ 100	φ 150	φ 100	φ 150	φ 100	φ 150		幅 (W)	長 (L)	高 (H)				
M12-2	150	0.700	1.0m未満	1		1		0.369		1		100	0.370	0.500	1.253	1.716	0.213	0.185	
M12-3	150	0.600	1.0m未満	1		1		0.269		1		100	0.370	0.500	1.153	1.579	0.196	0.185	
M43	150	0.888	1.0m未満	1		1		0.557		1		100	0.370	0.500	1.441	1.974	0.246	0.185	
計				3		3		1.195 m 1.000 本		3						5.269 m ²	0.655 m ³	0.555 m ²	

汚水枳・取付管集計表(全体)

汚水枳総箇所数 5 箇所

弥生地区管路施設第1号工事

取付管総延長 29.50 m

汚水枳集計

基礎砂 ※1.5m以下 市場単価
5箇所 × 0.03 = 0.15 ※1.5m超 積上げ
0.15 m³ 内積上げ分
0.12 m³
汚水枳設置労務

	箇所数
H≤1.0	1
H≤1.5	
H>1.5	4

市場単価計上分
1 箇所
内積上げ分
4 箇所

汚水枳部材数量

名称	蓋名	蓋区分	保護蓋	蓋厚さ	数量	立上り管 VU200mm
縦型	ミカゲ蓋	宅内	無し	0.23		
	t-8 蓋	一般	有り	0.34		
	t-25蓋	大型	有り	0.34		
横型	ミカゲ蓋	宅内	無し	0.23	1	2.57
	t-8 蓋	一般	有り	0.34	4	6.14
	t-25蓋	大型	有り	0.34		

保護蓋数量(材料費：積上げ、労務費市場単価)
大型車用 箇所
一般車用 箇所

VU200mm本数 (4m/本)
8.71m ÷ 4.0m = 2.1 内積上げ分
2.1 本 2 本

取付管集計

※市場単価
平均延長 5.90 m

曲管数量

曲管種別	部材長	数量	延長
15° 自在	0.2		
30°	0.2		
45°	0.2		
90° ベント	0.9		
30° 自在	0.2		
60° 自在	0.2		
計			

直管 φ100 4.0m/本

29.50m - 0.00m = 29.50
29.50 m
29.50m / 4m = 7.3本
8.0 本

支管数量

支管種別	数量
150*100	
200*100	
250*100	
300*100	
350*100	
400*100	

汚 水 枺 ・ 取 付 管 調 書

弥生地区管路施設第1号工事

[illegible]

弥生地区管路施設第1号工事

[illegible]

弥生地区管路施設第1号工事

[illegible]

弥生地区管路施設第1号工事

弥生地区管路施設第1号工事

弥生地区管路施設第1号工事

[illegible]

管路施設第1号工事

取付管土工総括表

工 種		規 格			数 量							合 計	備 考
舗 装 版 切 断		アスファルト舗装版 t=10cm 以下			別途計算書より計上							44.00 m	
取 壊 ・ 積 込 み		アスファルト舗装版 t=10cm 以下										49.59 m ²	
掘 削	機 械 掘 削	BH 0.45m ³ 級	(素掘)		1.89		0.33					2.22 m ³	
			(土留め)		55.07	7.13						62.20 "	
切 土 面 仕 上		人 力			1.80	20.48						22.28 m ²	
基 礎 工	管 床 部 及 び 管 側 頂 部	搬 入 土 (砂)	BH 0.45m ³ 級	(素掘)	0.53	0.09						0.62 m ³	
				(土留め)	6.90	0.90						7.80 "	
埋 戻 工	埋 戻 管 上 部 埋 戻 し	流 用 土	BH 0.45m ³ 級	(素掘)	0.36	0.06						0.42 "	
				(土留め)	4.55	0.60	28.02	5.60				38.77 "	
													"
		搬 入 土 (砂)	BH 0.45m ³ 級	(素掘)	凍上抑制層(道路復旧にて計上)							"	
				(土留め)									"
産 廃 処 理	舗 装 (As 塊)	BH 0.45m ³ 級	10tダンプ		別途計算書より計上							"	
	舗 装 (Co 塊)	BH 0.45m ³ 級	10tダンプ									"	
	切 削 (As)	人 力	2tダンプ									"	
残 土 処 理	舗 装 下	BH 0.45m ³ 級	10tダンプ		1.49	18.87	0.26	0.24				20.86 "	

管路施設第1号工事

取 付 管 土 工 集 計 表

工 種		規 格		単位	数 量								合 計	備 考	
道 路 区 分					簡易舗装道(素掘)	一般市道(土留め)	市砂利道(土留め)								
延 長		道路部		m	3.00	8.50	14.50					26.00			
		宅地部		〃	0.50	2.00	1.00					3.50			
舗 装 版 切 断				〃	別 途 計 算 書 より 計 上										
取 壊 ・ 積 込 み				m ²											
掘 削	機 械 掘 削	BH 0.45m ³ 級	(素掘)	m ³	1.89							1.89	道路部		
			(土留め)	〃		19.18	35.89					55.07	道路部		
	機 械 掘 削 (影 響 幅)	BH 0.45m ³ 級	(素掘)	〃									道路部		
			(素掘)	〃	0.33							0.33	宅地部		
	機 械 掘 削 (宅 地 分)	BH 0.45m ³ 級	(素掘)	〃									宅地部		
			(土留め)	〃		4.65	2.48					7.13	宅地部		
切 土 面 仕 上		人 力	(素掘)	m ²	1.80							1.80	道路部		
			(土留め)	〃		7.57	12.91					20.48	道路部		
基 礎 工	管 床 部 及 び 管 側 頂 部	搬 入 土 (砂)	BH 0.45m ³ 級	(素掘)	m ³	0.53						0.53	道路部		
				(土留め)	〃		2.55	4.35					6.90	道路部	
				(素掘)	〃	0.09							0.09	宅地部	
				(土留め)	〃		0.60	0.30					0.90	宅地部	
埋 戻 工	埋 戻 管 上 部	流 用 土	BH 0.45m ³ 級	(素掘)	〃	0.36						0.36	道路部		
				(土留め)	〃		1.68	2.87					4.55	道路部	
				(素掘)	〃	0.06							0.06	宅地部	
				(土留め)	〃		0.40	0.20					0.60	宅地部	
埋 戻 し		搬 入 土 (砂)	BH 0.45m ³ 級	(素掘)	〃	凍上抑制層(道路復旧にて計上)									道路部
				(土留め)	〃										道路部
		流 用 土	BH 0.45m ³ 級	(素掘)	〃									道路部	
				(土留め)	〃		8.13	19.89					28.02	道路部	
				(素掘)	〃									宅地部	
				(土留め)	〃		3.63	1.97					5.60	宅地部	
産 廃 処 理	舗 装 (As 塊)	BH 0.45m ³ 級	10tダンプ	〃	別 途 計 算 書 より 計 上										
	舗 装 (Co 塊)	BH 0.45m ³ 級	10tダンプ	〃											
	切 削 (As)	人 力	2tダンプ	〃											
残 土 処 理	舗 装 下	BH 0.45m ³ 級	10tダンプ	(素掘)	〃	1.49							1.49	道路部	
		BH 0.45m ³ 級	10tダンプ	(土留め)	〃		8.28	10.59					18.87	道路部	
		BH 0.45m ³ 級	10tダンプ	(素掘)	〃	0.26							0.26	宅地部	
		BH 0.45m ³ 級	10tダンプ	(土留め)	〃		0.17	0.07					0.24	宅地部	

鋪裝区分: As

※復旧面積のアスファルト舗装部は、開削幅により歩掛が異なるため、歩掛毎に集計を分けている。

弥生地区

測 点

[illegible]

弥生地区
復旧区分：砂利道

[illegible]

弥生地区

[illegible]

弥生地区

復旧区分：簡易舗装道[As]

[illegible]

取付管土工(一般市道)数量計算書

管路施設第1号工事

樹深合計	÷	箇所数	=	平均深
(素堀)				
(土留)	4.50	2	=	2.25

※()は土留の場合

※平均掘削深=平均汚水樹深+0.1(砂基礎厚)

(道路部)

切削	影響幅	掘削幅	影響幅	切削
0.30	0.50		0.50	0.30
0.03		表層・t=0.03m		
0.04		基層・t=0.04m		
0.15		上層路盤・t=0.15		
0.45		下層路盤・t=0.45m	0.870	
0.20		山砂		
0.30 以上		流用土	(0.966)	
		流用土	0.20	
0.10		山砂	0.314	
0.114		○		
0.10				
		0.60	(0.99)	

(宅地部)

	掘削幅	
		流用土
		流用土
0.20		
0.314		山砂
		○
		0.60
		(0.99)

1 m 当り算出

工 種	素 堀	土 留
舗装版切断 取壊・積込み		別途計算書より計上
機械掘削 (BH・0.45m ³ 級)		(2.350 - 0.07) × 0.99 = 2.257 m ³
機械掘削(影響幅) (BH・0.45m ³ 級)		
切土面仕上げ		1.00 × 0.89 = 0.890 m ²
BH・0.45m ³ 級投入 基礎砂・管床側頂部		0.99 × 0.314 - [(3.14 × 0.114 × 0.114) ÷ 4] = 0.3 m ³
BH・0.45m ³ 級投入(流用) 埋戻し管上部		0.99 × 0.20 = 0.198 m ³
BH・0.45m ³ 級投入(流用) 埋戻し		0.99 × 0.966 = 0.956 m ³
BH・0.45m ³ 級投入(山砂) 埋戻し		凍上抑制層(道路復旧にて計上)
BH・0.45m ³ 級投入 残土処理		2.257 - (0.198 + 0.956) ÷ 0.9 = 0.974 m ³
BH・0.45m ³ 級投入 残土処理		

1 m 当り算出

工 種	素 堀	土 留
機械掘削 (BH・0.45m ³ 級)		0.99 × 2.35 = 2.326 m ³
BH・0.45m ³ 級投入 基礎砂・管床側頂部		0.99 × 0.314 - [(3.14 × 0.114 × 0.114) ÷ 4] = 0.3 m ³
BH・0.45m ³ 級投入(流用) 埋戻し管上部		0.99 × 0.20 = 0.198 m ³
BH・0.45m ³ 級投入(流用) 埋戻し		0.99 × 1.836 = 1.817 m ³
残土処理		2.326 - (0.198 + 1.817) ÷ 0.9 = 0.087 m ³

取付管土工(市砂利道)数量計算書

樹深合計	÷	箇所数	=	平均深
(素堀)				
(土留)				
4.80	÷	2	=	2.40

※()は土留の場合

※平均掘削深=平均汚水樹深+0.1(砂基礎厚)

(道路部)	
掘削幅	
0.10	上層路盤・t=0.10
0.30	下層路盤・t=0.30
0.20	山砂
0.30 以上	流用土
0.10	流用土
0.114	山砂
0.10	○
0.60	(0.99)

0.600		
(1.014)	0.100	(2.500)
(1.386)		
0.20		
0.314		

(宅地部)	
掘削幅	
0.100	流用土
(2.500)	(0.414)
(1.986)	
0.20	流用土
0.314	山砂
○	
0.60	(0.99)

0.10	
0.114	
0.10	

1 m 当り算出

工 種	素 堀	土 留
舗装版切断 取壊・積込み		別途計算書より計上
機械掘削 (BH・0.45m ³ 級)		(2.500 - 0) × 0.99 = 2.475 m ³
機械掘削(影響幅) (BH・0.45m ³ 級)		0 × 0.10 = 0 m ³
切土面仕上げ		1.00 × 0.89 = 0.890 m ²
BH・0.45m ³ 級投入 基礎砂・管床側頂部		0.99 × 0.314 - [(3.14 × 0.114 × 0.114) ÷ 4] = 0.3 m ³
BH・0.45m ³ 級投入(流用) 埋戻し管上部		0.99 × 0.20 = 0.198 m ³
BH・0.45m ³ 級投入(流用) 埋戻し		0.99 × 1.386 = 1.372 m ³
BH・0.45m ³ 級投入(山砂) 埋戻し		凍上抑制層(道路復旧にて計上)
BH・0.45m ³ 級投入 残土処理		2.475 - (0.198 + 1.372) ÷ 0.9 = 0.73 m ³
BH・0.45m ³ 級投入 残土処理		= 0 m ³

1 m 当り算出

工 種	素 堀	土 留
人力掘削		0.99 × 2.50 = 2.475 m ³
人力投入 基礎砂・管床側頂部		0.99 × 0.314 - [(3.14 × 0.114 × 0.114) ÷ 4] = 0.3 m ³
人力投入(流用) 埋戻し管上部		0.99 × 0.20 = 0.198 m ³
人力投入(流用) 埋戻し		0.99 × 1.986 = 1.966 m ³
残土処理		2.475 - (0.198 + 1.966) ÷ 0.9 = 0.07 m ³

※()は土留の場合
※平均掘削深=平均汚水樹深+0.1(砂基礎厚)

(宅地部)

		掘削幅			
1.100 (0.100)	(0.000)	<div style="border: 1px solid black; height: 400px; position: relative;"> <div style="position: absolute; top: 50%; left: 50%; transform: translate(-50%, -50%);">流用土</div> <div style="position: absolute; bottom: 0; border-top: 1px dashed black; padding-top: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">山砂 ○</div> </div> </div>			
	0.20				
	0.314				
		0.60 (0.99)			

1 m 当り算出

[illegible]

輕量鋼矢板建込工賃料日数計算書

[illegible]

道 路 復 旧 面 積 集 計 表

管路施設第1号工事

名 称		舗 装 工				上層路盤工(t=150)	下層路盤工(t=450)	凍上抑制層 (m ²)	切削工
		1.4m未満	1.4m～3.0m以下	3.0mを超～6.0m以下	計	2.5m未満	2.5m未満	2.5m未満	
一般市道(仮復旧) (仮復旧) (t=3cm)	本	156.7			156.7	156.7	156.7	156.7	
	取	7.4			7.4	7.4	7.4	7.4	
	計	164.1			164.1	164.1	164.1	164.1	
一般市道(本復旧) (本復旧) (t=7cm)	本		344.7		391.8				47.0
	取		13.9		17.9				4.0
	計		358.6		409.6				51.0

名 称		舗 装 工				上層路盤工(t=100)	下層路盤工(t=450)	凍上抑制層 (m ²)	切削工
		1.4m未満	1.4m～3.0m以下	3.0mを超～6.0m以下	計	2.5m未満	2.5m未満	2.5m未満	
県道A型(仮復旧) (仮復旧) (t=3cm)	本		5.0		5.0	5.0	2.5		
	取								
	計		5.0		5.0	5.0	2.5		
県道A型(本復旧) (本復旧) (t=7cm)	本			8.5	9.3				0.8
	取								
	計			8.5	9.3				0.8

名 称		舗 装 工				上層路盤工(t=120)	下層路盤工(t=250)	凍上抑制層 (m ²)	切削工
		1.4m未満	1.4m～3.0m以下	3.0mを超～6.0m以下	計	2.5m未満	2.5m未満	2.5m未満	
簡易舗装道(仮復旧) (仮復旧) (t=3cm)	本	32.1			32.1	32.1	32.1	32.1	
	取	2.5			2.5	2.5	2.5	2.5	
	計	34.6			34.6	34.6	34.6	34.6	
簡易舗装道(本復旧) (本復旧) (t=5cm)	本		160.5		160.5				
	取								
	計		160.5		160.5				

名 称		舗 装 工				上層路盤工	下層路盤工	凍上抑制層 (m ²)	切削工
		1.4m未満	1.4m～3.0m以下	3.0mを超～6.0m以下	計	2.5m未満	2.5m未満	2.5m未満	
Co舗装道(本復旧)	本		418.2		418.2		139.4	139.4	
	取								
	計		418.2		418.2		139.4	139.4	

名 称		舗 装 工				上層路盤工	下層路盤工	凍上抑制層 (m ²)	切削工
		1.4m未満	1.4m～3.0m以下	3.0mを超～6.0m以下	計	2.5m未満	2.5m未満	2.5m未満	
砂利道(本復旧)	本					63.8	63.8	63.8	
	取					13.4	13.4	13.4	
	計					77.2	77.2	77.2	

合 計	A=	997.6	m ²	凍上抑制工(山砂V=	83.1	m ³)			
-----	----	-------	----------------	------------	------	------------------	--	--	--

区 画 線	外側線 L=	m	外 側 ・ 中 央 線				文字 (白・実線・15cm)
			本線(左)	本線(右)	取付(左)	取付(右)	
			中央線 L=				

弥生地区 管路施設第1号工事

舖裝復旧面積調書

[illegible]

本 線 切 削 調 書

管路施設第1号工事

路 線 名	区 間	舗装厚 m	幅 m	延長 m	面積 m ²	産廃量 m ³	備 考
支線1号	M 39 ~ M 39 + 52.5	0.03	0.30	52.50	15.75	0.47	一般市道復旧
支線2号	M 40 + 63.8 ~ M 41	0.03	0.30	5.20	1.56	0.04	一般市道復旧
支線3号	M 41 ~ M 41 + 50.0	0.03	0.30	50.00	15.00	0.45	一般市道復旧
支線2-1号	M 2-1 + 53.5 ~ M 2	0.03	0.30	2.50	0.75	0.02	県道A型復旧
支線4号	M 42 ~ M 43 + 8.0	0.03	0.30	49.00	14.70	0.44	一般市道復旧
				156.70	47.01	1.40	一般市道復旧
計				2.50	0.75	0.02	県道A型復旧
合 計				159.20	47.76	1.42	

軽量鋼矢板建込工賃料日数計算書

掘削範囲 (m)	延 長 (m)	建込日数(バックホウ) 日/100m (日)	引抜日数(バックホウ) 日/100m (日)	軽金支保工設置日数 人/100m (日)	軽金支保工撤去日数 人/100m (日)	延長1m当り矢板重量 t/m (t)	矢板長 (m)	集計値・能力		
1.51～1.80	L1 99.50	t1 1.798	t1' 0.893	b1 1.00	b1' 0.70	W1 0.215	2.0	バックホウ 0.45m3級		
1.81～2.00	L2 71.40							Q= 99.0 m3/日		
2.01～2.30	L3 8.00	t2 2.012	t2 0.964	b2 1.80	b2' 1.10	W2 0.268	2.5	掘削土量全体		
2.31～2.50	L4 114.50					W3 0.322	3.0	C= 808.79 m3		
2.51～2.80	L5	t3 2.179	t3 1.060			W4 0.376	3.5	埋戻部全体数量		
2.81～3.00	L6									
3.01～3.30	L7 69.00	t4 2.405	t4 1.155					D5= 571.43 m3		
3.31～3.50	L8									
3.51～3.80	L9	t5 2.500	t5' 1.250	b3 2.80	b3' 1.70	W5 0.430	4.0	仕上げ面積		
	ΣL 362.40	A1= 326.16 m ²								

1. 掘削及び土留工(a1)

$$\textcircled{1} \text{ 掘削日数} = \text{掘削土量}(C) / \text{バックホウ作業能力}(Q) = 808.79 / 99.0 = 8.169 \approx 8.17 \text{ 日}$$

$$\begin{aligned} \textcircled{2} \text{ 矢板建込日数} &= \text{延長}(L1+L2, L3+L4, L5+L6, L7+L8, L9) \times \text{設置日数}(t1, t2, t3, t4, t5) \\ &= ((99.50 + 71.40) \times 0.01798) + ((8.00 + 114.50) \times 0.02012) + ((69.00 +) \times 0.02179) \\ &\quad + (() \times 0.02405) + (\times 0.02500) = 7.196 \approx 7.20 \text{ 日} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \textcircled{3} \text{ 支保工設置日数} &= \text{延長}(L1+L2, L3+L4+L5+L6+L7+L8, L9) \times \text{設置日数}(b1, b2, b3) \\ &= ((99.50 + 71.40) \times 0.01000) + ((8.00 + 114.50 + + + 69.00 +) \times 0.01800) \\ &\quad + (\times 0.02800) = 5.156 \approx 5.16 \text{ 日} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \textcircled{4} \text{ 切崩し・床均し日数} &= \text{掘削土量}(C) \times \text{切崩し・床均し労務}(人/m^3) (K) / 3人 = 808.790 \times 0.040 / 3人 = 10.784 \approx 10.78 \text{ 日} \\ a1 &= \textcircled{1} + \textcircled{2} + \textcircled{3} + \textcircled{4} = 8.17 + 7.20 + 5.16 + 10.78 = 31.31 \text{ 日} \end{aligned}$$

$$2. \text{ 埋戻日数}(a4) = \text{埋戻部全体数量}(D5) \div 33.0m^3/\text{日} = 571.43 \div 33.0 = 17.316 \approx 17.32 \text{ 日}$$

3. 土留引抜日数(a5)

$$\begin{aligned} \textcircled{1} \text{ 矢板引抜日数} &= \text{延長}(L1+L2, L3+L4, L5+L6, L7+L8, L9) \times \text{引抜日数}(t1', t2', t3', t4', t5') \\ &= ((99.50 + 71.40) \times 0.00893) + ((8.00 + 114.50) \times 0.00964) + ((69.00 +) \times 0.01060) \\ &\quad + (() \times 0.01155) + (\times 0.01250) = 3.503 \approx 3.50 \text{ 日} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \textcircled{2} \text{ 支保工撤去日数} &= \text{延長}(L1+L2, L3+L4+L5+L6+L7+L8, L9) \times \text{撤去労務}(b1', b2', b3') \\ &= ((99.50 + 71.40) \times 0.00700) + ((8.00 + 114.50 + + + 69.00 +) \times 0.01100) \\ &\quad + (\times 0.01700) = 3.302 \approx 3.30 \text{ 日} \end{aligned}$$

$$a5 = \textcircled{1} + \textcircled{2} = 3.50 + 3.30 = 6.80 \text{ 日}$$

$$4. \text{ 実供用日数}(a0) = a1 + (a4 \text{あるいは} a5 \text{で値の大きい方}) = 31.31 + 17.32 = 48.63 \text{ 日} \quad (\text{※ } a4 \text{の値を採用})$$

$$5. \text{ 供用日数}(a) = a0 \times 30 / 20 = 48.63 \times 30 / 20 = 72.94 \approx 73 \text{ 日}$$

$$6. \text{ 使用回数}(N) = \text{総延長}(L) / 30m = 362.40 / 30 = 12.08 \approx 12 \text{ 回}$$

$$\begin{aligned} 7. \text{ 使用重量}(W) &= \text{延長}(L1, L2+L3, L4+L5, L6, L7+L8) \times \text{設置重量}(W1, W2, W3, W4, W5) \\ &= (99.50 \times 0.215) + ((71.40 + 8.00) \times 0.268) + ((114.50 +) \times 0.322) \\ &\quad + ((+ 69.00) \times 0.376) + ((+) \times 0.430) = 105.4847 \approx 105.485 \end{aligned}$$

$$8. 1 \text{ セット当り重量} = \text{使用重量}(W) \times 30m / \text{総延長}(L) = 105.485 \times 30 / 362.40 = 8.7322 \approx 8.732$$

※切崩し・床均し労務(人/m³) (K) = 0.04 (バックホウ0.45m3級)

水替日数・ポンプ／釜場設置撤去 計算書

		本管	取付管	合計
全体延長	L	415.90	29.50	445.40
管床部全体数量	D1 (碎石基礎)	39.45		
	(砂基礎)	78.40		
管側頂部全体数量	D2	0	8.42	
管上部全体数量	D3	78.40	0	
埋戻部全体数量	D4	448.35	39.19	
埋戻部合計	D5=D2+D3+D4	526.75	47.61	574.36

1. 基礎工(a1)

管床部全体数量・敷均し転圧日数=D1÷97.0m³/日 碎石基礎

$$\frac{39.45}{97.0} = 0.406 \approx 0.41 \text{ 日}$$

2. 管布設日数(a2)

(人力施工) 管布設日数 = 管距延長 × 布設歩掛 / 2人

(機械施工) 管布設日数 = 管距延長 × 布設歩掛

人力施工	リブ管150	304.95	×	0.038	/2=	5.794	≈	5.79	日
人力施工	PE管50	104.65	×	0.024	/2=	1.255	≈	1.26	日
人力施工	VU管100	29.50	×	0.025	/2=	0.368	≈	0.37	日

人 力 7.42 日
機 械 日
計 7.42 日

3. 埋戻日数(a3)

埋戻部全体数量・敷均し転圧日数=D5÷33.0m³/日

$$\frac{574.36}{33.0} = 17.404 \approx 17.41 \text{ 日}$$

4. 水替日数(a0)

$$a0 = a1 + a2 + a3 = 25.24 \approx 26 \text{ 日}$$

5. ポンプ及び釜場設置撤去

全体延長(L) / 50

$$\frac{415.90}{50} = 8.31 \approx 9 \text{ 箇所}$$

6. 1箇所当り水替日数

水替日数 / 箇所数

$$\frac{26}{9} = 2.8 \approx 3 \text{ 日/箇所}$$

交通管理工計算書

1. 土留材供用日数(a1)										
本管			48.63 日							
計			48.63 日							
2. 附帯工日数計算書(a2)										
工 種	規 格	単位	数 量					合 計	日当施工量	日 数
上層路盤工	歩道施工 1層(15cmまで)	m ²	164.1	5.0	34.6	77.2		280.9	268	1.05
	歩道施工 2層(30cmまで)	m ²							268	
下層路盤工	歩道施工 2層(40cmまで)	m ²	34.6	77.2	139.4			251.1	268	1.87
	歩道施工 3層(60cmまで)	m ²	164.1	2.5				166.6	268	1.87
仮舗装工(人力施工)	歩道 幅1.4m未満 t=25mm以上～35mm未満	m ²	164.1		34.6			198.7	250	0.79
舗装版切断工	As t=15cm以下	m							240	
	Co t=15cm以下	m							150	
舗装版破碎工	t=10cm以下	m ²							810	
機械掘削	土砂、小規模、標準	m3							37	
不陸整正		m ²	358.6	8.5	160.5	418.2		945.8	1,580	0.60
舗装工(機械施工)	車道 幅1.4m以上 t=25mm以上～70mm未満	m ²	409.6	9.3	160.5			579.4	2,300	0.25
	歩道 幅1.4m以上 t=25mm以上～70mm未満	m ²							1,000	
路面切削工	帯状切削 平均h=3cm以下	m ²	51.0	0.8				51.8	1,800	0.03
区画線工	溶剤・水性ペイント式、自走 実線(加熱・常温)15cm	m							8,200	
	熔融式、手動 実線15cm	m							1,500	
合 計										6.46
3. 日数(a0)										
a0 = a1 + a2 =			55 日							
交通誘導員	誘導員B	55	×	2	人	≒	110	人		

共通仮設費内訳

管路施設第1号工事

工 種	規 格	計 算 式	数 量
運搬費	軽量鋼矢板	1セット(30m)当り重量 本管 105.485 × 30／ 362.4	
		取付管 8.372 × 30／ 26	
		113.857 × 30／ 388.4 = 8.794 t	8.794 t
準備工	試験掘工	一般市道 2箇所 Co道 1箇所 砂利道 2箇所 5 箇所	5 箇所
役務費	臨時電力設備	415.9 m ÷ 100 m/箇所 ÷ 5.0 箇所	5 箇所
技術管理費	カメラ調査	本管用 305.0 m	305.0 m
		取付管用 5 箇所	5 箇所
	土質試験工	締め固めた土のコーン指数試験 1 試料	1 試料
	気密試験工	圧送管 104.7 m	105 m

試 験 掘 工			一般市道									
幅	W＝	0.91	<div>略 図 No scale</div> <div>1,500</div> <div><div>②再生密粒度As(13)</div><div><div>30</div><div>190</div><div>450</div><div>200</div><div>630</div></div><div><div>復旧断面</div><div>舗装仮復旧工</div><div>埋戻工 C－20</div><div>埋戻工 RC－40</div><div>埋戻工 路盤用・砂</div><div>埋戻工 土砂</div></div><div><div>掘削断面</div><div>As版</div><div>70</div><div>1,430</div></div></div>									
延長	L＝	1.50										
深	H＝	1.50										
			<div>(1箇所当たり)</div> <div><div>舗装切断工</div><div>L＝</div><div>(0.9 × 2 + 1.5 × 2) × 1</div><div>=</div><div>5.0</div><div>m</div></div> <div><div>舗装盤破碎工</div><div>A＝</div><div>0.91 × 1.50 × 1</div><div>=</div><div>1.4</div><div>m²</div></div> <div><div>人力掘削・積込</div><div>V＝</div><div>0.91 × 1.50 × 1.43 × 1</div><div>=</div><div>2.0</div><div>m³</div></div> <div><div>埋戻工(土砂)</div><div>V＝</div><div>0.91 × 1.50 × 0.63 × 1</div><div>=</div><div>0.9</div><div>m³</div></div> <div><div>埋戻工(路盤用砂)</div><div>V＝</div><div>0.91 × 1.50 × 0.20 × 1</div><div>=</div><div>0.3</div><div>m³</div></div> <div><div>残土処理</div><div>V＝</div><div>2.0 - (0.9 ÷ 0.9) × 1</div><div>=</div><div>1.0</div><div>m³</div></div> <div><div>AS殻運搬・処分</div><div>V＝</div><div>0.91 × 1.50 × 0.07 × 1</div><div>=</div><div>0.1</div><div>m³</div></div> <div><div>上層路盤工(C-20)</div><div>A＝</div><div>0.91 × 1.50 × 1</div><div>=</div><div>1.4</div><div>m²</div></div> <div><div>下層路盤工(RC-40)</div><div>A＝</div><div>0.91 × 1.50 × 1</div><div>=</div><div>1.4</div><div>m²</div></div> <div><div>舗装仮復旧 (再生密粒度As(13)t＝3cm Pコート)</div><div>A＝</div><div>舗装盤破碎工に同じ</div><div>=</div><div>1.4</div><div>m²</div></div>									

試 験 堀 工				砂利道															
幅	W=	0.91	<div>略 図 No scale</div> <div>1,500</div> <div>②再生密粒度As(13)</div> <div><div><div>100</div><div>300</div><div>200</div><div>900</div></div><div><div>復旧断面</div><div>掘削断面</div></div><div><div>C-20</div><div>埋戻工 RC-40</div><div>埋戻工 路盤用・砂</div><div>埋戻工 路盤用・砂</div></div><div><div>碎石</div><div>1,400</div><div>100</div></div></div>																
延長	L=	1.50																	
深	H=	1.50																	
			(1箇所当たり)																
人力掘削・積込			V=	0.91	×	1.5	×	1.5	×	1	=	2.0	m ³						
埋戻工(土砂)			V=	0.91	×	1.5	×	0.90	×	1	=	1.2	m ³						
埋戻工(路盤用砂)			V=	0.91	×	1.5	×	0.20	×	1	=	0.3	m ³						
残土処理			V=	2.0	-	(1.2	÷	0.9)	×	1	=	0.7	m ³				
上層路盤工(C-20)			A=	0.91	×	1.5	×	1									=	1.4	m ²
下層路盤工(RC-40)			A=	0.91	×	1.5	×	1									=	1.4	m ²

試 験 堀 工		Co舗装道	
幅	W=	0.91	<div>略 図</div> <div>No scale</div> <div>1,500</div> <div> <div>復旧断面</div> <div>掘削断面</div> <div>Co版</div> <div>30</div> <div>1,470</div> </div>
延長	L=	1.50	
深	H=	1.50	
		<div>②再生密粒度As(13)</div> <div>200</div> <div>200</div> <div>1100</div>	<div>埋戻工 RC-40</div> <div>埋戻工 <u>路盤用・砂</u></div> <div>埋戻工 土砂</div>
舗装切断工	L=	(0.9 × 2 + 1.5 × 2)	= 5.0 m
舗装盤破碎工	A=	0.9 × 1.5	= 1.4 m ²
CO殻運搬・処分	V=	0.9 × 1.5 × 0.03	= 0.04 m ³
人力掘削・積込	V=	0.9 × 1.5 × 1.47	= 2.0 m ³
残土運搬・処理	V=	1.4 - (0.04 ÷ 0.9) × 1	= 1.4 m ³
埋戻工(路盤用砂)	V=	0.9 × 1.5 × 0.20	= 0.3 m ³
上層路盤工(C-20)	A=	× ×	= - m ²
下層路盤工(RC-40)	A=	0.9 × 1.5	= 1.4 m ²
舗装仮復旧	A=		= - m ²

共通仮設費内訳(合算)

管路施設第1号工事

工 種	規 格	計 算 式	数 量
運搬費	軽量鋼矢板	補 助 単 独 補 助 単 独 1セット(30m)当り重量 本 管(36.992 + 105.485)×30÷(107 + 362.4) 取付管(3.143 + 8.372)×30÷(30 + 26)	単独で計上
		(40.135 + 113.857)×30÷(137 + 388.4) = 8.790 t	8.79 t
準備工	試験掘工	補 助 単 独 県道A型 (1 +) = 1 一般市道 (+ 2) = 2 Co道 (+ 1) = 1 砂利道 (+ 2) = 2	
		6 箇所	6 箇所
役務費	臨時電力設備	補 助 単 独 (107.0 + 415.9) m ÷ 100 m/箇所 ≒ 6.0 箇所	6 箇所
技術管理費	カメラ調査	補 助 単 独 本管用 (104.9 + 305.0) = 409.85 m 取付管用 (2 + 5) = 7 箇所	409.9 m 7 箇所
	土質試験工	(+ 1) 1 箇所	1 箇所
	気密試験工	圧送管調書より (+ 104.65) 104.65 m	104.7 m